

JR東海ユニオンの狙い

春闘＝賃上げを闘わないための目くらまし！

最近、JR東海ユニオン（以下ユニオン）が、ことさら私たちJR東海労（なぜか、「海労」などと揶揄しているが？）に対して、個人名まであげつらって、ヒステリックに、本部、地方の見境なく攻撃をしている。

しかし、ユニオン沼津運輸区分会は間違いなく、JR東海労組合員に対して、「カルト」なる事実無根の掲示をした。また、会社もJR東海労組合員に対して東京第二運輸所における当たり前の組合活動を「テロリスト的」とデッチ上げた。これらは共に事実である。そしてとても別次元の言動とは思えない。

またその沼津運輸区では、ユニオンは我が物顔で職場で集会をしているのに、JR東海労が初めて行った職場内集会を報告したJR東海労ニュースを巡って、会社はあらん限りの不当労働行為を、あろうことか、静岡支社全体に広げて行っている。

ところで、時季は春闘。JR東海労にしつこいくらい攻撃を仕掛ける暇があったら、ユニオン（自称責任組合）としてやるべきことは他にあるのではないのか。賃金引き上げはもちろん、例えば休日出勤解消に向けて具体的にどうするのか。職場には解決すべき課題はいくらでもある。

最近のユニオンと会社の蜜月関係的JR東海労攻撃は、会社の言いなりに春闘＝賃上げの闘いを放棄するために、ユニオン組合員に対する「目くらまし」ではないでしょうね。

**私たちは7700円満額獲得
のために闘います！**